

金魚の描き方



金魚は胴（楕円）、尾（部分円、月）、ひれ・エラ・口（月）、目（円）で作られています。

1. まず胴を描きます。

「挿入」⇒「図形」⇒「楕円」と進んで、楕円を描きます。

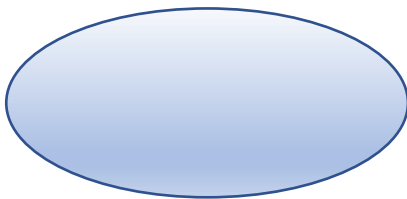


2. グラデーションで塗りつぶします。

① 楕円が選択されている状態ですと、「図形の書式設定」のタブが表示されています。

「図形の書式設定」⇒「図形の塗りつぶし」⇒「グラデーション」⇒「その他のグラデーション」と進みます。

② 「図形の書式設定」の作業枠（右図）が表示されますので、「塗りつぶし（グラデーション）」を選び、「種類」が「線形」になっているかを確認します。



上の楕円が左のように変わ

りますから、「グラデーションの分岐点」で色を変更します。

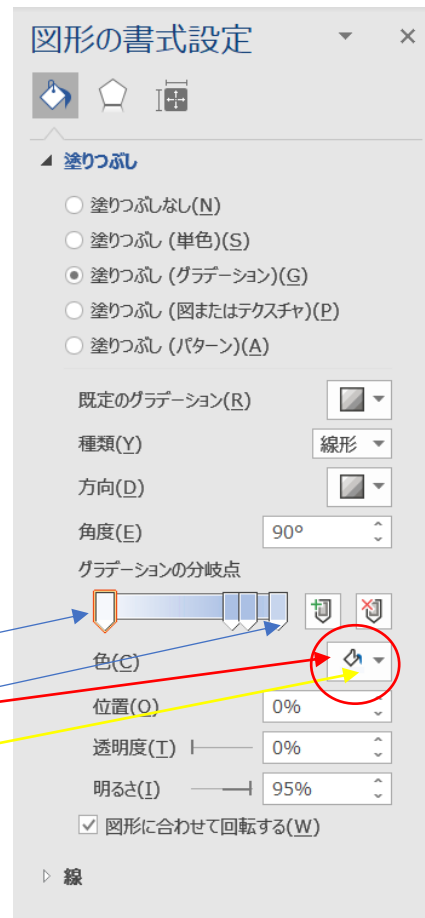
③ 左端のガイドをクリックして

「色」を赤にします。

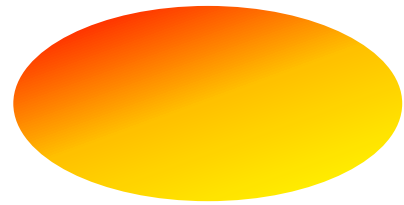
④ 右端のガイドをクリックして「色」を黄色に変更します。

色の変更ははすべて同じ個所  でします。

⑤ 中のガイド2つのうち一つを下にドラッグして消します。



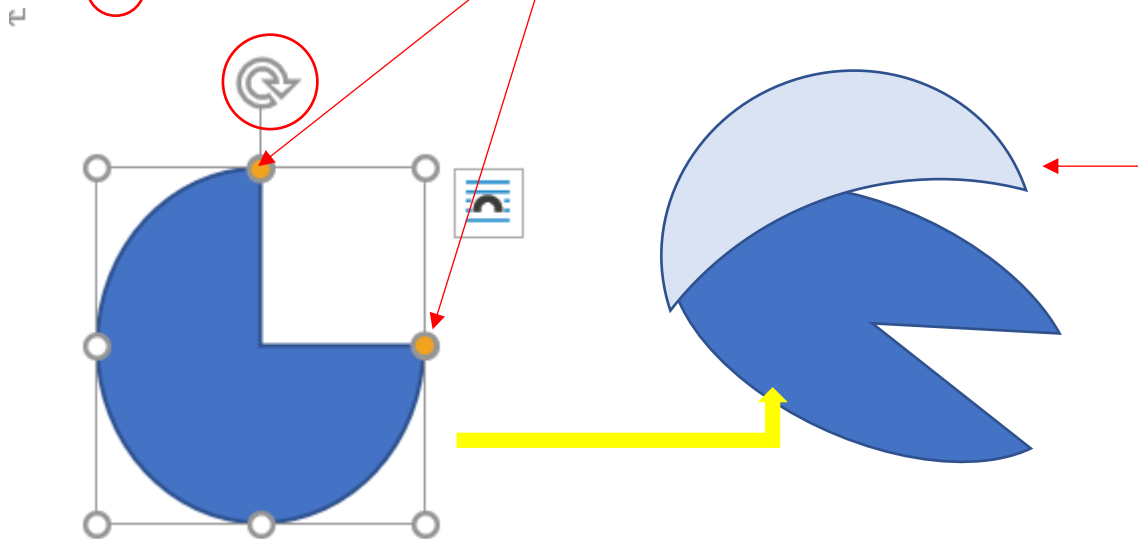
- ⑥ 残ったガイドをクリックして、「色」をオレンジに変更します。
- ⑦ 作業枠の最下段にある「線」をクリックすると作業枠が拡大して線の設定ができます。
「線なし」を選んでください。
- ⑧ 作業枠の「グラデーション分岐点」の真ん中のガイドを左右に移動させると赤・黄の楕円内の割合が変わりますので、お好みで設定してください。
- ⑨ 「角度」の横の上下レバーで角度を変えると楕円内の色の角度が変更できます。(右図は角度 70° です)



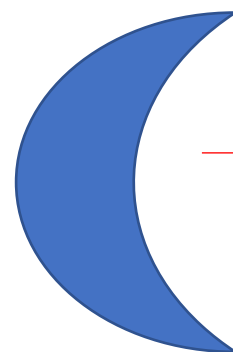
基本的なグラデーションの設定は上記の通りですから、この方法で尾・ひれ等の設定をしてください。

3. 尾 「部分円」を描きます。

- ① 胴の手順と同じ要領で部分円を描きます。
オレンジのハンドルを移動させることで変形できます。
上部の矢印で図形が回転します。右図を参考に変形・回転させてください。



- ② 尾のもう一つのパーツ 月を描きます。
これもオレンジのハンドルで変形、矢印で回転します。
- ③ 部分円に月を重ねて尾らしくなるように配置します。
図形の大きさは 8 か所の○を移動させて変更してください。
- ④ 2つのパーツをグループ化します。
「Ctrl」キーを押しながら、部分円と月をクリック選択し、「図形の書式」タグから「グループ化」を選択、クリック。二つの図形が一つになります。



- ⑤ 上記 3 と同じ要領で色をグラデーションに変更します。
参考：パーツを一つずつグラデーションをすると個別（部分円と月）に設定できます。
グループ化してグラデーションをすると 1 つの図形としてグラデーションされるので、目的に応じて使い分けます。サンプルは次ページの通りです。



個別にグラデーション設定



グループ化してグラデーション設定

- ⑥ 尾の作成は「月」を3つ組み合わせてもできます。
- ⑦ 尾は2種作っておくと2匹の金魚が違った雰囲気になります。
- ⑧ 尾の一部が直線で柔らかさが不足の時は「頂点の編集」でカーブを付けることができます。方法はこのレシピの最後に記しておきます。



4. 胴の後ろに尾を配置します。

- ① グラデーション設定に違和感があるときは修正してください。回転した図形はクリック選択すると回転しない形に一旦戻りますが、設定後は元の位置になりますから心配いりません。
- ② 配色都合によって胴を上配置するのか、尾を上にするのかを決めます。上下の順番を変える時は「図形の書式」から「背面へ移動」又は「前面へ移動」をクリックして調整します。この時数枚の図形が重なっていると一度のクリックでは目的の配置にはならないことがありますから、数回クリックする必要が生じてきますので、ご注意ください。
- ③ 胴と尾をグループ化します。

5. エラ・ひれ・口を作ります。

- ① 胴の手順と同じ方法で「挿入」⇒「図形」⇒「月」を描きます。
- ② グラデーションの設定をします。角度はパーツによって変更しますから、ここではあまり気にしなくてもよいです。
- ③ 「Ctrl」+「D」キーでコピーを4枚作成します。合計5枚になります。これは口1つ、エラ1つ、背びれ1つ、胸びれ2つになります。
- ④ パーツによって大きさ、角度、形（前述3-①で説明したオレンジのハンドルで変形できます）を変更して、グラデーションもパーツによって変えます。
- ⑤ 配置は口・背びれ・胸びれ1枚は「背面へ移動」を使って、胴の下になるようにします。残りの胸びれ1枚とエラは胴の上に配置します。
- ⑥ 作成したパーツを4-③でグループ化した胴と尾にグループ化をして1つの絵にします。この時「Ctrl」キーを使って選択をしても良いのですが、「ホーム」⇒「編集（右端の方）」⇒「選択」⇒「オブジェクトの選択」を使うと便利です。この時選択しようとするパーツの一部が少しでも枠の外に出ていると選択外になりますから、注意してください。

6. 目を作ります。

- ① 正円を2つ描きます。「Shift」キーを押しながら円を描くと正円になります。
- ② 1つは「図形の書式」⇒「図形の塗りつぶし」⇒「白」、「図形の枠線」⇒「黒」、
「図形の枠線」⇒太さ（1pt 又は 1.5pt）少し太めを選びます。 
- ③ 1つは黒く塗りつぶします。「図形の書式」⇒「図形の塗りつぶし」⇒「黒」。前記の②の目よりも小さくします。この時も「Shift」キーを使って正円を保ちます。 
- ④ 2つの円を重ね合わせ、グループ化します。この時黒目の位置を工夫すると面白い表情になります。

⑤ 胴の頭の部分に大きさを調整して乗せ、グループ化します。

参考

- ☆ 図形の大きさを変更するときは、安易にハンドルを動かすと縦長になったり、横長になったりします。縦横のバランスを崩したくないときは「Shift」キーを押しながら調整します。
- ☆ グループ化は小さい単位でグループ化して、だんだん増やしていった方が後での調整がしやすいです。
- ☆ グループ化したままでも、色や位置の調整はできます。絵をクリックすると四方にハンドルが付きますが、調整したい部分をさらにクリックするとその部分にハンドルがついて変更ができます。
- ☆ 直線的になった時は頂点の編集から頂点を増やして図形を変形できます。この時三角形などの直線の図形は新しくできた頂点を結ぶ線は直線となりますから、複数の頂点を作って曲線風にする必要があります。曲線でできた図形（月や楕円等）はその線が曲線となります。

頂点の編集の方法は次の通りです。

- ① 図形をクリックします。
- ② その図形の中で右クリックすると、作業枠が出てきます。
- ③ 作業枠の中にある「頂点の編集」をクリックします。
- ④ 既定の頂点は■で表示されます。
- ⑤ 頂点を足そうとしている線の上にマウスを持って行くとマウスポインタが変わります。ドラッグするとそこに新しい頂点ができ図形が変わります。頂点をドラッグして移動させると頂点の位置が変わります。新しい頂点も■で表示されます。



- ☆ 上の金魚は目を出目金に、背びれを大きく、尾の重なりと形を変形しました。

手順は

目 正円⇒グラデーション設定⇒目の貼り付け⇒グループ化⇒楕円に変形

背びれ 「頂点の編集」⇒上方向に延ばす

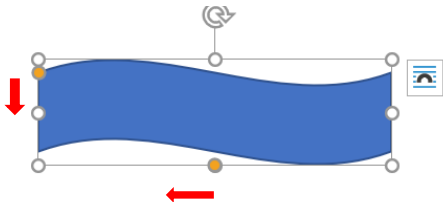
尾 重なる順番を変更 部分円の下に月を配置

エラ 縦長に伸ばす

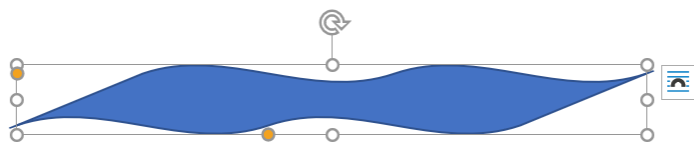
- ☆ 「ファイル」のサイズが大きくなりますから、金魚とは別のファイルにして書いてください。
(後で、「金魚のお絵かき」などの名前を付けて「フォルダ」に入れておくと便利です)
- ☆ 以降「挿入」⇒「図形」の手順説明を省略します。
- ☆ 大きく描いてから、サイズを小さくした方が扱いやすいです。

水草 (1) の描き方

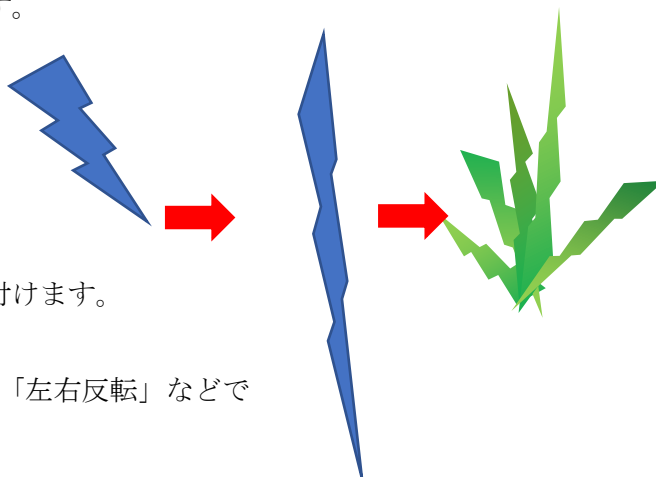
1. 「図形」より「星とリボン」⇒「波線」を描きます。



2. オレンジ色のハンドルを上の方の図に書き足した⇒ように移動させて変形します。
真ん中下のオレンジ色ハンドルを左へ、左上オレンジ色のハンドルを下へ移動します
幅や長さを調整して、回転縦長にします。



3. 色をグラデーションを使って緑の濃淡で調整します。
4. 4~5枚コピー、貼り付け（「Ctrl」+「D」キー）します。
5. 長さ、回転で向きを変えながらアレンジして水草風に配置します。
この時、グラデーションの色を2,3種使って変化をつけると多彩になります。線は無しでも良いし、一部の葉に細い線を着けても変化が出ます。
6. グループ化します。
- 7.

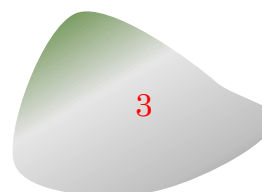
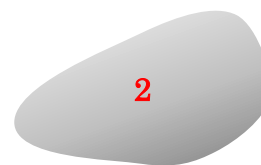


水草 (2) の描き方

1. 「図形」より「稲妻」を描きます。
2. 長さ、幅を調整します。
3. グラデーションで緑・黄・茶などで色を付けます。
4. 4~5枚コピー、貼り付けをします。
5. 「図形の書式」⇒「回転」⇒「上下反転」「左右反転」などで調整しながら組み合わせます。
6. グループ化します。

小石の描き方

- ① 「図形」⇒「楕円」を描きます。
- ② グラデーションで白・グレーの濃淡を使って色を付けます。
この時下になる部分を濃い色にすると自然な感じが出ます。
- ③ コピー、貼り付けをして、「頂点の編集」（金魚の描き方で説明しています）変形の石を 2、3 種作ります。
石の一部を緑（3）のようにすると自然な感じが増します。
- ④ 複数個コピー、貼り付けをします。
- ⑤ 石は配置してからグループ化した方がデザインしやすいです。



あぶくの描き方

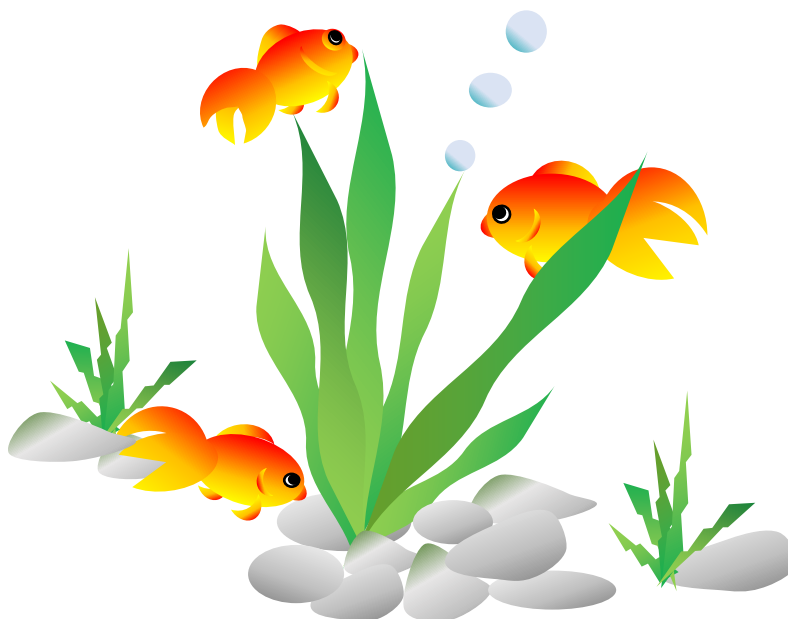
あぶくは小さな部品なのでいろいろ工夫するのも良いのですが、より小さくすると分かりづらくなるので正円を描いて薄い水色をつけるだけでも十分に使えます。サンプルは水色濃淡でグラデーションが設定されています。



配置の仕方

金魚、部品のそれぞれのファイルからコピーをして新しい紙に貼り付けていきます。

- ① 大きさ、全体の配置を見ながら調整します。
- ② 「図形の書式」⇒「前面へ移動」、「背面へ移動」などを利用します。
- ③ 「ホーム」⇒「選択」⇒「オブジェクトの選択」を使って、グループ化します。
この時パーツのすべてが選択枠の中に十分に入るよう大きめに選択します。
- ④ グループ化すると絵全体で拡大縮小ができます。



画像として保存の仕方

- ① グループ化した金魚の絵をコピーします。
- ② Windows アクセサリーからペイントを起動します。
- ③ キャンバス（最初に表示される白い画面）を小さめにします。
分かりにくいですが、キャンバスの右、下、右角に小さなハンドルが 3 か所ありますから、これを使って調整します。
- ④ 貼り付けします。この時キャンバスが大きいときは、絵の大きさを調整するか、位置を調整します。
キャンバスサイズを変えて調整しても良い。

- ⑤ 「ファイル」⇒「名前を付けて保存」(この時横の小さな三角をクリックします)⇒「JPEGで保存」
又は「GIFで保存」をクリック。
(PNGで保存でもOKですがファイルサイズは大きくなりますが、画質は良いです)
- ⑥ 「保存場所」を確認し、分かりやすい名前を付けて保存してください。
- ⑦ これで1枚の絵として暑中見舞いやメールに貼り付けて使用できます。
また、大きさも変えることができます。(ワードのファイルのままではサイズが重くなり使いづらいです。)